最近の構造設計に関する講演会のご案内

近年わが国では震度5以上の強い地震が頻発しております。平成8年から平成17年までの10年間で震度5以上の地震数は日本全国で43回、平成18年から平成27年までの10年間では61回、なかでも平成23年には東北地方太平洋沖地震は震度７で津波も発生し甚大な被害があったことはまだ記憶に新しいところです。平成28年の1年間でも6回、そのうち熊本地震では震度７の振れが3日の間に２回連続して起こり、多数の死者、負傷者、建物の被害が発生しました。建築構造設計にかかわる技術者の責任の重さが再認識されるようになってきました。

さて大分県においては鉄筋コンクリート造の高層ビルが次々と建築されるようになり、また免震構造もあらゆる用途の建物に使われるようになって参りました。

そこで来る４月２２日に最近の構造設計の動向に関しまして以下のような講演会を企画いたしましたので、ご案内申し上げます。

■講演内容

1. 鉄筋コンクリート構造における最近の動向と課題

　　講師　平石久廣氏（明治大学理工学部建築学科　教授）

1. 免震構造の最近の動向と課題

　　　　　　　　　　　講師　澤田研自氏（日本免震構造協会　専務理事）

■日時　　　平成２９年４月２２日（土）　　１４：００～１７：３０

■会場　　　ホルトホール大分　　４０３号室

■定員　　　４５名（先着順、定員に達し次第締切）

■参加費　　無　料

■CPD　　　３単位認定

主催　　一般社団法人　大分県建築構造技術センター

共催　　公益社団法人　大分県建築士会、一般社団法人　日本建築構造技術者協会大分支部

会場の都合により聴講者数に限りがございます。聴講ご希望の方はお早めに参加者氏名、勤務先及びEメールを電話・FAX・メールにてご連絡ください。

連絡先　　　　大分県建築構造技術センター　　担当　羽仁

Eメール　　　k-center@obj.or.jp

電話 097-529-5565　　　FAX 097-529-7701